

双葉東小学校学校関係者評価書(後期)

平成22年2月19日(金)

双葉東小学校学校関係者評価委員会作成

第2回学校関係者評価委員会

実施日 平成22年1月28日(金)午後7時30分～

会場 双葉東小学校会議室

参加者 (学校関係者評価委員)

学校評議員 ・乙黒 健 ・長谷部 集 ・中村めぐみ ・古澤みどり ・石塚邦夫
・大澤健次郎

PTA 代表 ・志村浩二(欠席) ・石川茂美
(学校側)

校長 中 千博

教 頭 甲田ふみ子

教務主任 白倉三正

I 学校側から提案された内容

- ・自己評価(教職員)結果及び改善策について
- ・児童、保護者アンケート結果及び改善策について

II 協議された主な内容

- ・自己評価(教職員)結果及び改善策について
- ・児童及び保護者アンケート結果及び課題について
- ・学校の様子について

<学校関係者評価書>

I 全体評価

双葉東小学校の総合評価は、前期に引き続き総じて良好の水準を維持している。全ての項目が肯定的方向で安定している。また、日々の教育実践に対する評価は、比較的高い水準にある。ただし、個々の項目の中から見えてくる課題に対して、教職員集団が一つになってさらに取り組んでいってほしい。

II 特 徴

- ・国や県の指定を受けて、心の教育を中心に道德教育、道德実践及び授業内容の充実に力を入れている。
- ・あいさつ運動への取り組みは、地域、家庭の理解を得ながら徐々に広まりを見せてきている。
- ・校長を筆頭に全ての教職員が子どもと向き合う努力をしている。
- ・朝読書への取り組みは、学習意欲の向上や生活態度によい影響を与えている。
- ・校庭芝生化(平成21年7月完成)にともない児童の外遊びが増えてきている。
- ・電子黒板を活用した授業づくりに取り組んでいる。

Ⅲ 学校の概況及び今後の課題について

- 学校開放日、授業参観等の回数をもっと増やしたらどうか。学校の様子を見る機会が増えれば保護者と教職員や児童との距離が縮まる。人間関係ができれば親和性も高まり相互の信頼関係が深まり、地域教育にも良い影響を与えると思う。
- 運動会の様子から子どもたちの成長を感じました。特に集団としての規律がすばらしかったです。高学年児童の演技力は、見る者に感動を与えてくれました。
- 子どもや保護者の生の声を聞く機会を工夫したい。相互に胸襟を開いていろいろな話ができるといいと思う。学年PTA行事などレク活動の後に設定するのも一つの方法だと思う。
- 保護者のアンケート結果で、B評定の数値が高いのは学校の詳しい情報が不足しているとも考えられる。学校の様子を広く知らせる努力を今後ものぞみたい。
- 学校の敷地や校舎内外が、とてもきれいになりました。特に廊下の壁面やトイレなどがきれいになっているので気持ちがいいです。子どもたちが一生懸命そうじをしているのだとわかりました。そんな様子も見る機会があったらいいと思います。
- 学校評価項目内容について、毎年ほとんどかわっていない。保護者アンケートと児童アンケートもほとんどかわっていない。教職員、児童、保護者ともどもマンネリ化してきてはいないだろうか。学校オリジナル項目の内容を工夫してほしい。また、毎年実施するのではなく隔年とか3年に1度とかに実施するのもいいのではないか。

※ 特記事項

- 保護者アンケートの回収率が高まった原因は、回収袋に決めごとを表記したこと、学校オリジナル項目などわかりやすくしたことによると考えられる。

記載責任者 双葉東小学校 学校関係者評価委員

氏名： 石川 茂美 印

